

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SSTココベリの森		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 1日		～ R7年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	R6年 12月 1日		～ R7年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラム	イベント・戸外活動・見学等のプログラムの充実を図っている。地域のイベントや、クッキング、バス体験、カラオケ体験、電車体験等活動の意味やテーマを決め、担当が計画を立て職員に共有し行っている。また、自社のマルシェに参加するなど、活きた体験を行っている。	行く場所がマンネリしないように、常に情報等をしっかりと収集していく。
2	環境・個別支援	個別支援計画書を基に、学年、年齢等個々にあった支援や専門職による、個別の専門的支援を行っている。(個室での個別やトレーニング等の活用)また、外活動が出来るスペースが確保されているので、外活動が行いやすい。	利用者様にわかりやすいルールの説明や、事前の視覚的アプローチなどをしっかり行う。
3	家族支援・連携	事業所内相談を随時受付行う事、また送迎時やLINE,連絡帳でのご相談があった際、必要な際は関係機関と連携を図り、迅速に対応している。また、利用者様が困った時などの居場所として、受け入れる体制を整えている。それにより保護者様、利用者様が安心して通えるよう工夫している。	特定の職員だけでなく職員全員が対応できるように、事業所内研修を充実させ、職員のレベルアップを図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎	送迎等の学校が多校あり、日によっては送迎で平日の活動の時間が短くなったり、帰ってくる時間によっては、全体活動に参加が十分に出来ない子もいる。また記入物に追われることもある。	大体が揃う時間を鑑みて、活動時間の組み立てを今一度見直す事と、来所が遅い利用者様への活動参加への工夫を行う。連絡帳の記入物などは、今後アプリなどを再検討していく。
2	報連相と認識	職員間の報連相が時折不十分な事がある。どこまでを報連相するのかの認識の違いがあるのかと思う。また放課後デイサービスの加配や配置、または重要事項等などの認識が不足していると感じる事がある。	常時ミーティング等で伝えたり、周知を行っているが、更に振り返りを行い、定期的に職員の意識の確認を行う。それにより職員の意識の向上や、放課後等デイサービスの意味の再確認になり、より良い支援提供に繋げる。また保護者対応も職員一人一人がしっかり行えるようになる。
3	利用・その他マニュアル等の周知	防犯防災や、感染症等各種マニュアルの保護者様への周知が不足していると感じる。また利用に関して急なキャンセルが多くある。	マニュアルの周知などは、また委員会などを通し全体で検討を行う。 利用キャンセルについては、定期的にあるご家庭については、相談支援専門員の方などにご相談したり、ご家庭に相談し利用日の見直し、検討を行っていく。